

## 令和8年度事業計画

我が国は、少子高齢化・人口減少の進行に直面しており、産業を支える労働力の不足が懸念される中、企業においては65歳までの雇用が確保されるなど、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮する機会は増えています。

一方で、会員に就業機会を提供することにより、生活の安定とともに健康維持や生きがいの充実、また会員が働くことを通じて現役世代の下支えや地域社会の維持・発展に貢献するなど、シルバー人材センターが果たす役割は重要となっています。

近年、シルバー人材センターを取り巻く環境は急速に変化しており、令和6年11月に施行された特定受託事業に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス法)は、請負で就業する会員もフリーランスとして対象となり、会員を保護し、安心して就業していただけるよう、当センターでは契約方法の見直しを行いました。見直し後の契約方法では発注者と会員は直接契約関係となることから、令和5年10月に開始されたインボイスの影響はセンターから発注者に移ることになりました。

現在、免税事業者からの仕入税額控除は、80%は経過措置により控除できますが、本年10月以降は段階的な引下げが予定されており、発注者の負担が大きくなることから、今後の契約にどのような影響が及ぶか動向を注視していく必要があります。

また、センターにおいて重要な事項である会員の拡大は、企業の定年延長やコロナ禍等の影響により会員数の減少は下げ止まらず、入会案内チラシの折込みや Web 入会説明会等、様々な施策を講じていますが依然厳しい状況が続いています。

このような中で令和8年度は、評価と見直しを行った中期計画で定めた目標達成に向けて、事業実施計画に基づき取り組んでまいります。

令和7年3月に立ち上げた「女性活躍推進グループ」を中心に事業を実施し、女性会員の入会促進並びに退会抑制を図ります。

会員向け専用サイト「Smile to Smile」の登録を更に推進するため、就業情報やイベント案内など積極的に発信してまいります。

「安全はすべてに優先する」ことを再認識し、会員の事故を防止するためフレイル予防教室の実施や石飛び等が抑制される刈払機の使用を推進するなど、会員が安全で安心して就業できる環境を整備してまいります。

### 中期計画における令和8年度の目標

【会員数】	【契約金額】		【受注件数】	
1,893人	請負契約	5億7,050万円	請負契約	2,242件
	派遣契約	5億7,050万円	派遣契約	434件
	合計	11億4,100万円	合計	2,676件

【安全・適正就業】 毎年7月に実施する「安全就業強化月間」の間中は傷害事故、賠償事故ともに事故件数「0」にする。

※収支予算上、派遣業務は契約金額のうちセンターが受け取る受託収益額のみを計上、及び請負業務において、会員が受け取る配分金は契約方法の見直し後は、会員業務委託料という名称となり、発注者からの預り金となることから収支予算には計上されず、結果として目標値と収支予算額に差が生じています。

- 1 事故<sup>ゼロ</sup>を目指して、安全就業対策を進めます
  - ① 仕事別グループによる就業現場の安全管理の推進
  - ② 安全委員会による就業現場の巡回による安全確認の実施
  - ③ 事故発生状況の周知により安全意識の向上
  - ④ 安全に配慮した機械・器具の使用推進
  - ⑤ 各種講習会の開催
  
- 2 シルバー人材センターらしい仕事を目指して、適正就業を推進します
  - ① 「適正就業ガイドライン」に沿った適切な就業形態での契約
  - ② 仕事別グループ運営の指針による運営の自己チェックの推進
  - ③ 就業交替制度の新たな対象業種の検討
  - ④ 各種講習会の開催及び参加推進による顧客満足度の向上
  
- 3 あらゆる機会を通じて、就業機会を確保します
  - ① 指定管理者等、公共事業の着実な受託
  - ② 教育・子育て・介護事業分野の積極的な就業開拓
  - ③ 女性会員の更なる拡大に向けた取組みの推進
  - ④ 未就業者対策等、退会者の抑制
  - ⑤ 「Smile to Smile」の登録推進及び SNS を活用した速やかな情報提供
  
- 4 強固な組織づくりを進めます
  - ① サポーター制度の積極的な活用
  - ② 多様な入会説明会(分散開催、Web、出張など)による入会し易い環境の構築
  - ③ デジタル化による効率的な業務運営
  - ④ 新たな就業ニーズに特化した会員募集の実施
  
- 5 会員の融和及び健康管理を進めます
  - ① 各種講習会実施による生きがい創出の発信
  - ② サークル活動の支援
  - ③ ボランティア活動の推進
  - ④ 会員相互の親睦事業の推進
  - ⑤ フレイル予防教室の実施
  
- 6 積極的なPR活動を推進します
  - ① シルバー広報紙の発行
  - ② 各種行事への参加
  - ③ センターのPRチラシ等の作成、活用
  - ④ 市町広報紙の活用
  - ⑤ 会員への事業運営状況の周知
  - ⑥ センターホームページの充実による情報発信の推進